## 加美町まち・ひと・しごと創生総合戦略(骨子案)

## ■ 1 趣旨・背景

総合戦略は、人口減少や町が直面する課題等に対応 し、真の豊かさと活力を築く環境を多面的に創出する ことで、まちづくりの基本理念である「共生」、「協働」、 「自治」に基づく、「善意と資源とお金が循環する、人 と自然に優しいまちづくり」の実現よる加美町の創生 に向け、中長期的な基本目標や具体的な施策を定めた ものです。

「人口ビジョン」による分析と、創生・克服に向けた「総 合戦略」を策定

## ■ 2 全般事項

計画期間・・・5年間

加美町総合計画「笑顔幸福プラン」と総合戦略の関係

## 加美町笑顔幸福プラン

総合戦略

※総合計画に含まれ、実施計画と整合を図る

## ■ 3 人口の現状分析

## ①全般

- ・合併前旧3町人口は昭和30年をピークに減少。
- ・加美町の人口は合併時の平成 15 年をピークに減少。
- ・老年人口は、平成7年に年少人口の割合を超過。
- ・20~39歳の女性人口は全人口の1割未満。
- ・世帯数は微増傾向。
- ②自然増減の推移
- ・平成23年以降、死亡数と出生数が2倍以上の開き。
- ③合計特殊出生率
- ・平成 25 年は 1.33 と、全国平均(1.43)を下回る。
- ④ 社会増減の推移
- ・平成 23 年に微増となったが、近年は毎年 150 人近く 転出超過。
- ・県内・外問わず転出超過傾向。
- ⑤ 年 齢 階 級 別 人口 移 動 の 推 移
- ・10~24歳の転出超過が顕著。
- ·就職に伴い、以前は 20~29 歳が転入超過であったが、 近年は転出超過。
- ⑥産業別就業人口の推移
- ・国県より就業人口割合が多い農業でも就業者の 50% 以上が60歳以上。
- ・産業別町内総生産寄与度と経済成長率の推移に与え る影響が一番大きいのは第二次産業。

#### ■ 4 2060年の遠方目標

## 1 地域資源を活用したお金の循環を生み出す「里 山経済の確立し

・エネルギー、食料、建物の地産地消を進め、お金の循 環を生み出すとともに、観光資源を活用したお金の流 入する什組みをつくり、工食住の白給を目指します。

## 2 「健幸社会の実現」による、誰もが健康で心豊 かに暮らせる地域づくり

・生活の質(QOL)を極力保ちながら、生きがいづく りや歩きたくなるまちづくりを進め、高齢者も安心し て住み続けられる地域づくりを目指します。

## 3 安心して子どもを産み育てられる「子ども・子 育て応援社会の実現し

・町を上げて子どもや子育て世帯を応援する姿勢を示 し、また、子どもたちが夢や目標を持ち、生きる力や 必要な学力を身に付け、健やかに成長する環境を整備 し、移住定住の促進を図ります。

## 善意と資源とお金が循環する、 人と自然に優しいまちづくりを実現

# 標

#### 2060年の加美町の人口

#### 15.000人(社人研推計 11.000人)

※合計特殊出生率が 2030 年に 1.8(希望出生率)に、2040 年に 2.07 (人口置換水準) に達し、さらに社会動態を 政策的誘導により補正

## ■ 5 基本理念

- 【共生】 豊かな自然環境を保全し、これらが有する資 源を再生可能エネルギーや美しい環境、雇用 の創出、地産地消など最大限に生かし、人と 自然が共生するまちづくりを推准します。
- 【協働】 住民と行政は、対等なパートナーとして共に 知恵や労力を出し合い、外部人材の有効活用 を図りながら、地域の課題解決に取り組む協 働のまちづくりを推進します。
- 【自治】 3地区の行政機能を維持し、地域の人々が、 自ら考え行動し、地域の歴史や、文化を生か しながら、魅力のある持続可能な地域を創り、 次世代に引き継いでいく、住民自治に根差し たまちづくりを推進します。

## ■ 6 基本目標・施策の基本方向

#### 【基本目標1】 里山経済の確立

【施策の基本方向】・地域エネルギー資源の活用

- - ・地元木材の利活用
  - ・観光資源の活用
  - · 特 産 品 開 発 · 販 売 促 進

## 【基本目標2】 健幸社会の実現

遠

目

見

5

മ

- 【施策の基本方向】・健康習慣の確立
  - ・生きがいづくりの推進
  - ・歩きたくなるまちづくり
  - ・地域包括ケアシステムの確立

## 【基本目標3】 子ども・子育て応援社会の実現

- 【施策の基本方向】・学校教育の充実
  - ・子育て支援の充実
  - ・国際交流の充実
  - ・移住定住の促進

## ■ 7 事業推進体制

- ・総合的、横断的に取り組む柔軟で機動性の高い組織 を編成し、行政の総合力を発揮して、効率的な推進 体制を構築します。
- ・町民や企業、各種団体等との連携協働による推進、 進捗管理を行い、町全体で取り組む体制を構築しま す。

## ■ 8 検証方法

・各施策の評価検証は、外部有識者を含む検証機関によ り実施することを基本とし、PDCAサイクルにお けるC(check)を単なる「点検・評価」に終わらせ ず、深く考察・反省し、学ぶ意味で(study)とし、P DSAサイクルを採用します。

## ■ 9 その他

・総合戦略にて講ずべき具体的な施策(事業)は実施計 画及び審議会の意見を踏まえた内容で検討していき ます。

※第1回審議会でのキーワード

- 「後継者不足」
- 「 景 観 」
- 「移住定住」
- 「拠点づくり」